

事務事業名	交通安全対策事業		事業期間	～	年度	係内番号	02
担当部署	都市建設部	建設課	交通安全係		連絡先	512	

政策 番号	05	基本 計 画 体 系	項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称				実行計画 の施策の 柱におけ る指標と の関連度	高										
			基本計画①	01	都市計画マスタープラン	0202	交通施設整備の方針															
			基本計画②	01	都市計画マスタープラン	0202	交通施設整備の方針															
			実行計画	03	道路河川等整備計画	0402	交通安全対策事業															
	予 算 事 業 名												交通安全対策事業	会計コード	01	款	08	項	01	目	02	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			警察、茅野交通安全協会茅野支部、長野県交通安全教育支援センターなどと連携し、交通安全教室での発育段階に応じた実践・体験型の交通安全指導による子どもの交通事故防止、高齢者宅訪問活動、高齢者対象の交通安全教室の開催など交通安全啓発活動を行い高齢者の交通事故防止を図る。また、茅野どんぱん、縄文の里マラソンなどの市民や観光客などが多数参集する催事の安全対策として警察、茅野交通安全協会茅野支部と連携し、横断誘導、交通規制看板、バリアードの設置を行い参集者の事故防止を図る。																			
現 状 と 背 景 （どうして）			子ども、高齢者の交通事故の絶無を期す必要があるが、依然として後を絶たない現状である。 大規模な交通規制を伴う催事には関係機関と連携し交通事故防止と円滑な交通の流れの確保を図っていかなければならない。																			
目 的	対 象	受 益 者 （誰のために）	道路利用する子ども、高齢者及び催事に参集する参加者																			
		対 象 （直接働きかける）	道路利用する子ども、高齢者及び催事会場付近の道路利用者																			
	意 図 （どんな状態にしたいか）	子どもと高齢者の交通事故の減少。催事等における交通事故の絶無と円滑な交通の流れ。																				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）			(1)交通安全教育支援センターなどと連携、発育段階に応じた実践・体験型の指導による交通安全教室の実施。 (2)高齢者交通安全モデル地区を中心に警察、茅野交通安全協会茅野支部と協力し高齢者宅を訪問し、夜光反射材などを配付し、外出時における注意啓発活動を実施する。 (3)高齢者クラブの総会時に警察、茅野交通安全協会茅野支部、長野県交通安全教育支援センターなどと連携し交通安全教室を開催する。 (4)交通規制計画の参画。交通規制看板、バリアード、規制標識の設置と円滑な交通整理。																			
評価 指標 の 作 成	活動 指標	行政が活動することで作り出すもの			指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値											
		1	交通安全意識の高揚		交通安全教室の講座開設数	回	小学校33+10講座 保育・幼稚園19×2講座 高齢者・PTA等7講座				88											
		2	夜光反射材の活用・高齢者ドライバーへの啓発		高齢者宅訪問件数	軒	年間の高齢者宅訪問件数				100											
		3																				
	変更 履歴																					
	成果 指標	成果・効果は何？			指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値											
		1	小学生以下の交通事故非発生		小学生以下交通事故非発生率	%	(1-小学生以下交通事故件数/365日)×100				100											
		2	高齢者（65歳以上）の交通事故非発生		高齢者交通事故非発生率	%	(1-高齢者交通事故件数/365日)×100				100											
		変更 履歴																				

実 施 状 況 （ D O ） 備 考	項 目		単位	2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事 業 費 等 (a)		円	5,012,760	5,745,000				
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	円						
		県 支 出 金	円						
		地 方 債	円						
		その他特定財源	円						
		一 般 財 源	円	5,012,760	5,745,000				
	活 動 指 標	交通安全教室の 講座開設数	目標	回	88	88			
			実績		83				
			達成率	%	94.32	—	—	—	—
		高齢者宅訪問件数	目標	軒	100	100			
			実績		150				
			達成率	%	150.00	—	—	—	—
		—	目標	—					
			実績						
			達成率	%	—	—	—	—	—
	成 果 指 標	小学生以下交通事故非 発生率	目標	%	100	100			
			実績		98				
			達成率	%	98.00	—	—	—	—
		高齢者交通事故非発生 率	目標	%	100	100			
			実績		65				
			達成率	%	65.00	—	—	—	—
	備								

事務事業名		交通安全対策事業		事業期間	～	年度	係内番号	02
担当部署		都市建設部	建設課	交通安全係		連絡先	512	
事業 評価 価値	項目	2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化							
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）							
	翌年度方向性	成果						
	コスト							
課長評価日								
事業 後 評価 価値 （ C H E C K ）	項目	2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
	（成果） 変 動 指 要 標 因 分 析	保育園・小学校での交通安全教室を実施している。 なお、14歳以下の幼児・児童の交通死亡事故ゼロ、21年継続中。 高齢者等に対する免許返納の際の「運転経歴証明書」の取得費用の補助、2019年度より開始した。						
	総合評価	他市町村と比較して、当市は市、警察、安協、県交通安全支援センターと積極的に連携して交通安全の啓発を行っている。市レベルで21年間14歳以下の死亡事故がないのは輝かしい成果である。						
	課題	交通安全対策の実践者である交通安全協会員の高齢化が進み、次代を担う人材発掘を警察及び交通安全協会と連携して行う必要がある。						
	改革・改善の方向性（A C T）	引き続き14歳以下の幼児・児童の交通死亡事故ゼロを継続させる。 コストは免許証返納者への補助金の創設もあり2019年度予算が前年より増加したが、今後は現状維持とする。						
改革・改善の方向性（A C T）	翌年度方向性	成果	拡充					
	コスト	現状維持						
作成担当者		今井 明彦						
最終評価責任者		大谷 勝己						
最終評価年月日		2019年5月17日						

整理番号 06010403

計画

高

政策番号	05	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称				実行計画の施策の柱における指標との関連度							
			基本計画①	01	都市計画マスタープラン	0202	交通施設整備の方針											
			基本計画②	01	都市計画マスタープラン	0202	交通施設整備の方針											
			実行計画	03	道路河川等整備計画	0403	茅野駅前自転車駐輪場の管理事業											
予算事業名					茅野駅前自転車駐輪場管理費				会計コード	01	款	08	項	01	目	02	事業	05
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)			茅野駅前にある東口駐輪場、西口駐輪場の2箇所の駐輪場の、朝夕の通勤時間帯における整理整頓、場内清掃、盗難防止、放置自転車の片付け等の管理を行う。															
現状と背景 (どうして)			駐輪場の自転車が無造作・無秩序に置かれたり、ゴミの投げ捨てなども時折見られ、茅野市の玄関口としての駅前の秩序維持を図る必要がある。															
目的	対象	受益者 (誰のために)	茅野市民・市内通勤通学による利用者															
		対象 (直接働きかける)	茅野駅前自転車駐輪場 収容能力 東口 自転車578台、身障者用1台、原付47台 西口 自転車240台、 原付10台 合計876															
	意図 (どんな状態にしたいか)	秩序正しい整然とした環境																
手段・方法 (どうやって)			(社)茅野広域シルバー人材センターへの委託事業として、同センター職員2名で、平日の午前7時～10時、午後3時～6時の間、駐輪場内の自転車・バイク等の整理整頓、場内清掃、除雪、盗難防止、放置自転車の片付け等の管理を行う。															
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		1 放置自転車の撤去回数		自転車撤去回数	回	年間の撤去実施回数				2								
		2																
		3																
	変更履歴																	
	成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		1 苦情非発生件数		苦情非発生件数	%	(1-苦情発生件数/365日)×100				100								
		2																
		変更履歴																

実施状況

備考

項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度			
事業費等(a)	円	2,036,000	2,075,000						
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円								
一般財源	円	2,036,000	2,075,000						
活動指標	自転車撤去回数	目標	回	2	2				
		実績		1					
		達成率	%	50.00	—	—	—	—	
	—	目標	—						
		実績							
		達成率	%	—	—	—	—	—	
	—	目標	—						
		実績	—						
		達成率	%	—	—	—	—	—	
	成果指標	苦情非発生件数	目標	%	100	100			
			実績		100				
			達成率	%	100.00	—	—	—	—
—		目標	—						
実績									
達成率	%	—	—	—	—	—			
備考									

事務事業名		茅野駅前自転車駐輪場管理事業		事業期間	～	年度	係内番号	03
担 当 部 署		都市建設部 建設課		交通安全係			連絡先	512

事 中 評 価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事 後 評 価 （ C H E C K ）	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果） 変 果 動 指 要 標 因 分 （ 析	放置自転車が少なかったため、撤去回数を1回とした。				
	成 果	管理を委託しているシルバー人材センターの職員の勤勉成果により、駐輪場が清潔かつ秩序が守られている。				
	総合評価	特段なし。				
	課 題					
改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T ）	翌年度方向性	成果	現状維持			
	コスト	現状維持				
	改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 の 内 容 策 び 容	現在の成果を継続させるため、引き続き委託先であるシルバー人材センターとの連携が必要である。コストについては、委託料の内容が人件費であるため、現状維持とする。				
作成担当者		今井 明彦				
最終評価責任者		大谷 勝己				
最終評価年月日		2019年5月17日				

整理番号 06010401

実 施 状 況 （ D O ）	項 目		単位	2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	財 源 内 訳	事 業 費 等 (a)	円	19,998,522	20,000,000				
		国 庫 支 出 金	円	8,820,000	10,000,000				
		県 支 出 金	円						
		地 方 債	円						
		その他特定財源	円						
		一 般 財 源	円	11,178,522	10,000,000				
	活 動 指 標	道路反射鏡設置・更新数	目標	基	42（内老朽化20）				
			実績						
			達成率	%	—	—	—	—	—
転落防止柵等設置・更新距離		目標	m						
		実績		291					
		達成率	%	—	—	—	—	—	
成 果 指 標	路面標示の設置・更新延べ距離	目標	m						
		実績		6,665					
		達成率	%	—	—	—	—	—	
	老朽化道路反射鏡更新数	目標	基	20	20			20	
		実績		21					
			達成率	%	105.00	—		—	—
—		目標	—						
	実績								
	達成率	%		—	—	—	—	—	
備 考									

事務事業名		交通安全施設等整備事業		事業期間	~	年度	係内番号	01
担 当 部 署		都市建設部 建設課		交通安全係		連絡先	512	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果） 変 果 動 指 要 標 因 分 （ 析	老朽化道路反射鏡の更新については、計画22基中のとおり2018年度は21基を更新。 転落防止柵等の新設・更新要望が前年より倍増し、予算を圧迫、逆に路面標示は前年の1/2にとどまってしまった。				
	成 果	道路反射鏡の更新は計画通り実施し、また、転落防止柵の設置により交通安全対策を推進している。				
	総合評価	要望が多い路面表示の更新は予算不足のため実施できない箇所が多い。また、歩行者の安全を守るキングポスの設置要望も増加しているが、各交通安全施設の設置に係る優先順位付けが困難である。				
	課題					
改革・改善の方向性（ACT）	翌年度方向性	成果	現状維持			
	コスト	現状維持				
	改革・改善の方向性の内容	路面標示の更新が停滞している。主要路線を中心に、センターライン、外側線の復元工事を中心に行っていく。				

作成担当者	今井 明彦				
最終評価責任者	大谷 勝己				
最終評価年月日	2019年5月17日				